

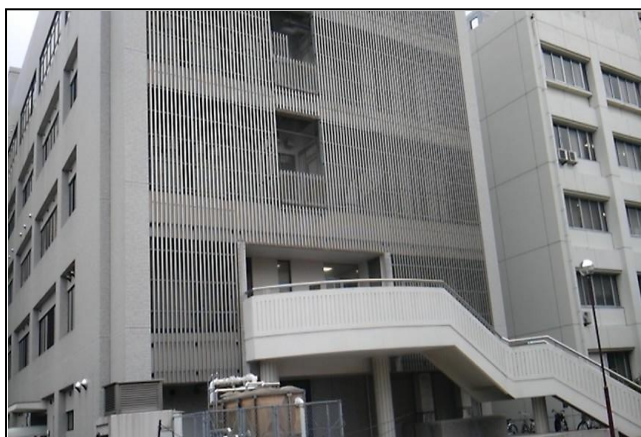
はいすい見張り版

ごあいさつ

本年も排水処理施設を

よろしく願いいたします

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、排水処理施設の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も排水処理施設をどうぞよろしく願いいたします。



排水処理施設 宇部分室は、小串地区の共同研究棟（遺伝子実験施設）内に設置されている。

皆さますでにご存じかと思いますが、2010 年には、小串地区に排水処理施設 宇部分室が設置されました。これに伴い、以前は対応が遅れがちだった宇部地区の皆さまからのご要望、トラブル等にも、迅速に対応できる体制が整いました。2011 年も、山口・宇部の両地区で、廃液処理・排水監視・薬品管理の面から、皆さまの研究活動をバックアップできるよう、取り組みを進めてまいります。ご意見・ご不明な点等がありましたら、お気軽にお声をお寄せ下さい。



報告事項

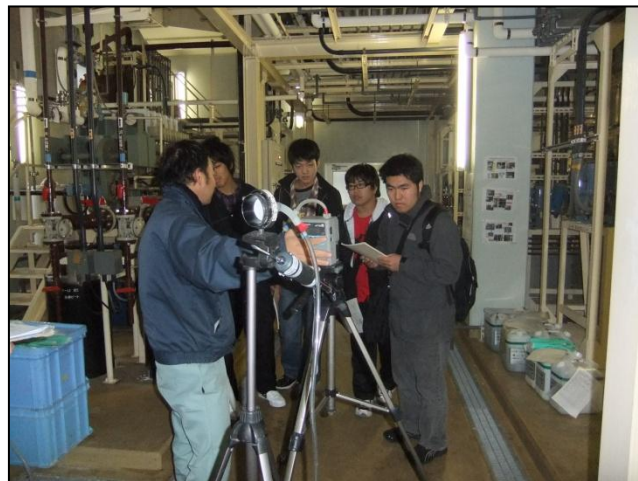
平成 22 年度第 2 回

無機系廃液処理作業が終了しました

12 月 6 日（月）から 11 日（土）まで、平成 22 年度第 2 回 無機系廃液処理作業が行われました。一週間で、

約 1,400 L の無機系廃液が無害化処理されました。期間中には、作業環境測定も行われ、見学に訪れた学生さんは、作業環境測定士の方から説明を受けながら、興味深そうに測定の様子を見学していました。

無機系廃液処理は、排水処理施設にて年に 2 回行われています。皆さま、ぜひ見学にいらしてください。



無機系廃液の無害化処理の装置（上）や、作業環境測定（下）に興味深げに眺める学生の皆さん。

新・連載企画

～クイズで 納得！～ 廃液マメ知識

第 8 回：特定廃液の話

これまで 5 回にわたってお話ししてきた無機系廃液シリーズも、今回が最終回です。最後のテーマは、「特定廃液」。特定廃液は、無機系廃液の中で最も回収量が少なく、2010 年の全回収量 560 本（約 5,300 L）の

うち、4本(31L)しか搬入されませんでした。皆さまにも、なじみの薄い廃液ではないでしょうか。そこで今回は、皆さまに特定廃液を覚えていただくため、こんな問題を用意しました。『特定廃液に該当する廃液(物質)は3つあります。それは何でしょう?』ヒントは、オ○○○、タ○○○、ベ○○○○です。皆さま、お分かりでしょうか?



☆☆☆ 前回の答え ☆☆☆

・ふっ素・りん廃液は、フェライト反応を阻害するた

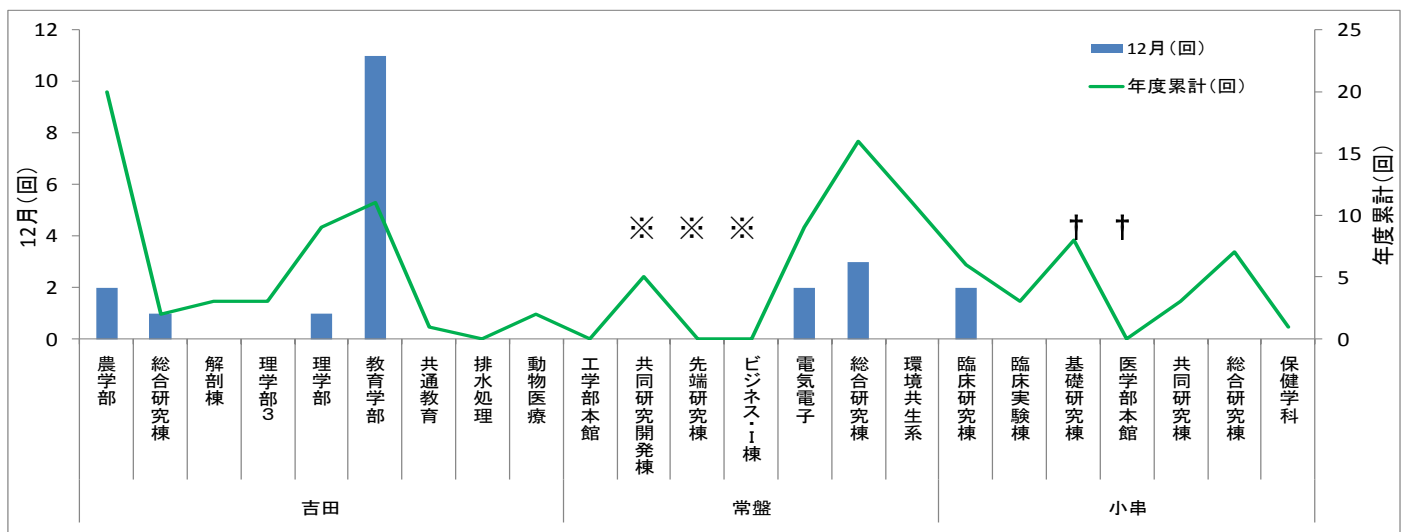
め、 CaCl_2 を加えてリン酸カルシウム、ふっ化カルシウムとした後、凝集沈殿によって除去します。

・ふっ素またはりん酸化合物の廃液は緑色のタンクに、重金属に加え、りん酸化合物を 100 ppm またはふっ素化合物を 15 ppm 以上含む廃液は、黄色のタンクに貯留します。

・りん酸化合物を 200 ppm 含んでいても、水銀が少しでも含まれていれば、水銀廃液になります。



◆ pH 異常発生回数 建物別対抗戦 🏆 12 月分結果発表!



大掃除のシーズンである12月は、例年、pH異常が多発する傾向が見られました。しかし今年度は、皆さまのご協力もあり、大掃除が原因と思われるpH異常は比較的少なくて済みました。一方で、教育学部(吉田)で11回ものpH異常が発生しました。同建物では、現在改修工事が進められており、その影響もあるのか

もしれませんが、該当の建物の皆さま、今一度、薬品や廃液の取り扱いの見直しをお願いします。

なお、常盤地区の3棟(※)は12月1日から23日まで、小串地区の2棟(†)は12月1日から31日まで、pH計調整中のため、異常の発生回数をカウントしていません。悪しからずご了承ください。

◆ 1月の廃液回収情報

- 1月11日(火) 13:30~14:30 吉田地区 無機系廃液回収(於:排水処理施設)
- 1月21日(金) 14:00~15:00 小串地区 廃液回収(於:小串地区廃棄物倉庫前)

山口大学 総合科学実験センター 排水処理施設

TEL : 083-933-5137(内線:6137), 0836-85-3064(内線:3064)

E-mail : haisui@yamaguchi-u.ac.jp

URL : http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html

皆さまからの ご意見・ご感想をお待ちしております・・・

